

前橋市城東地区の高齢者の交通手段特性に関する研究

前橋工科大学 学生会員 ○福田 大樹
前橋工科大学 正会員 森田 哲夫

1. はじめに

(1) 研究の背景

近年我が国は少子高齢化社会かつ人口減少の一途を辿っている。また、地方においては生活に必要な不可欠な拠点となる施設が不足し公共交通不便地域が拡大している。その結果多くの人々が移動手段に自動車を選択している。とりわけ群馬県においては自動車への依存が高くなっている。すなわち免許返納後の高齢者は移動が困難になり自動車運転に代わる交通手段が求められる。この問題を解決する手段の一つとして世帯間同乗が挙げられる。

世帯間同乗とは、高齢夫婦世帯や単身世帯のため世帯内構成員では運転サービスを受けられない世帯員が、異なる世帯同士、世帯間での自動車同乗を行う運転サービスである。

(2) 研究の目的

本研究では、高齢者の自動車利用の実態を把握することにより、高齢地区におけるデマンド型交通の意義を示すことが目的である。

(3) 既存研究と本研究の位置づけ

古澤ら¹⁾はヒアリングおよびアンケート調査を元に地区の歴史、住居の特性とコミュニティの熟練度との関連性を踏まえたうえで、高齢者の外出の確保手段として有用性が高い自動車同乗交通についての実態分析を行った。木村ら²⁾は高齢者のアクティビティに影響する要因について、PT データを用いた分析を行った。目黒ら³⁾は高齢者や障害者などの交通弱者のための外出支援のための方法として、グループタクシーの導入について検討を行った。

本研究では高齢者地区における交通手段の現状についてアンケート調査を用いて分析する。

2. 研究の対象地域と研究フロー

本研究では以下の図1の通りに進める。アンケート調査の対象とした城南地区は、前橋市中心部から約8km離れた郊外に位置し、最寄り鉄道駅から最

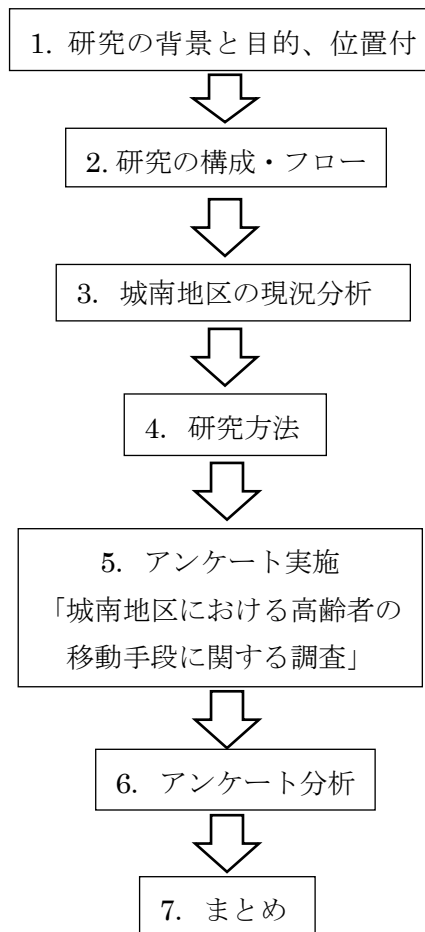


図1 本研究のフロー

大で4km程度の距離がある市街化区域に隣接する市街化調整区域である。地域内では、地区西端を南北に延びる1路線と、東西方向に横断する2路線の路線バスのほか、デマンド相乗りタクシー「マイタク」（前橋市全域で利用可）や、デマンドバス「城南あおぞら号」（城南地区内のバス停相互間で利用可）が、交通手段として利用可能である。

3. アンケート調査の実施

アンケート調査では、高齢者の私用目的および仕事などでの定期的な外出に着目して、外出頻度、距離、時間帯、移動手段、自動車利用時の運転者など、移動の全体像を把握する（図2）。

キーワード 高齢者、世帯間同乗、デマンド型交通

連絡先 〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町460-1 前橋工科大学 地域・交通計画研究室 E-mail: tmorita@maebashi-it.ac.jp

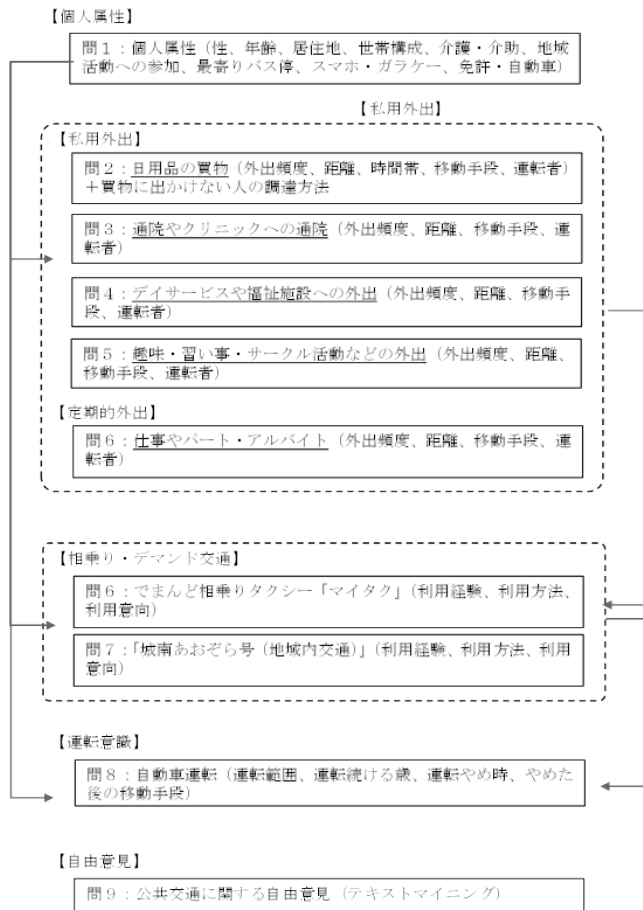


図2 調査内容

調査票は、地区内の自治会を經由して、高齢者がおられると想定される自治会会員世帯の約半数に2枚ずつ配布し、郵送で回収した。調査票の配布は2021年11月に依頼したが、住民基本台帳人口（2021年8月31日現在）による当該地区の65歳以上人口は5,631人、配布調査票は2,700世帯×2=5,400票、回収調査票は1,508世帯（約56%）、2,315票（約43%）であった。

4. 調査結果

アンケートに回答した65歳以上高齢者を対象に、買物、通院、デイサービスや福祉施設への外出、趣味・習い事・娯楽などの外出、仕事など（パート・アルバイト、ボランティアを含む）の定期的な移動などの目的別に、外出頻度、およその移動距離、移動手段構成（世帯間同乗の割合）などについて集計する。

本稿においては、日用品（食料品など）の買物に関する調査結果について示す。

(1) 自身で出かける有無とその頻度

・日用品の買物にご自身で出かける高齢者の方は

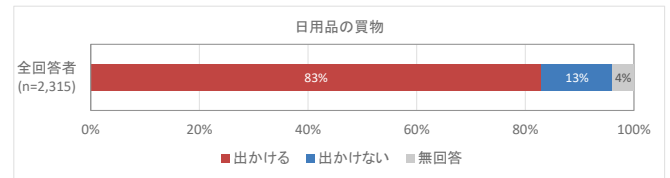


図3 自身で出かける有無

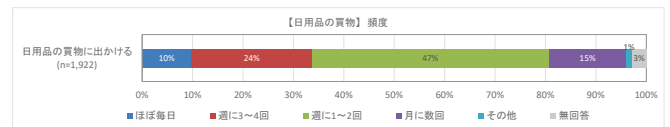


図4 自身で出かける頻度

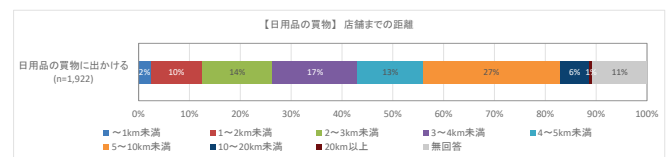


図5 出かける際のおよその移動距離

83%に達する（図3）。

・その頻度をみると、週に1~2回以上出かける方で計80%を越える（図4）。

(2) 移動距離

・日用品の買物での移動距離は、3km未満の方が約25%、5km未満で55%を越える（図5）。

5. まとめ

本研究では、前橋市城南地区の高齢者を対象としたアンケート調査を実施した。調査結果を修正することにより高齢者の交通特性を把握することができた。今後は、より詳細に集計し交通手段の利用特性を分析する。

参考文献

- 古澤浩司・青島縮次郎・杉木直・川合康生・藤島誉：地方都市内における地区特性を考慮したコミュニティと高齢者の自動車同乗交通との関連分析，土木計画学研究・論文集，Vol.20，No.4，2003
- 木村一裕・清水浩志郎・伊藤誉志広：高齢者のアクティビティに影響を与える要因に関する研究，都市計画論文集，Vol.34，pp.955-960，1999
- 目黒力・湯沢昭：高齢者・障害者のための外出支援の現状と対策—グループタクシーの導入を目的として，日本建築学会計画系論文集，Vol.80，No.714，pp.1843-1852，2015